

# 巻 頭 言

歯学部長 宮崎 隆

今年から電子シラバスが導入されました。従来よりも閲覧や検索が容易になったと思いますので、十分に活用してください。**大学の理念と教育理念、歯学部の教育目標**は6年間の目標であり、さらに皆さんが生涯、専門医療人として社会と国民に貢献する間の目標です。折に触れて、この目標に目を通してください。

さらに、**コンピテンシー**が明記されています。これは、皆さんが卒業時に有している臨床能力を社会に明示するものです。欧米の大学のホームページには Competences が明記されています。これは、その大学が卒業時に出している品質保証書のようなものです。このコンピテンシーを身につけて卒業できるように、こちらも折に触れて目を通してください。

我が国では急速な少子高齢化や歯科疾病構造の変化、さらには国民の医療ニーズの多様化により、社会が求める歯科医師像が変わってきました。特に超高齢社会に突入し、摂食や呼吸など生命に直結し、味覚、発音、表情づくりなど生活の質に係わる歯科医療の重要性が益々高まり、国民が安全にそして安心して歯科医療を受けることが求められています。そのためには、医師を始めとする幅広い医療職とチームを組んで国民の長寿健康に貢献できる質の高い歯科医師が求められています。いわゆる時代と社会が必要とされる**臨床能力の質の向上**が求められています。

本歯学部のカリキュラムの柱は、「**診療参加型臨床教育**」です。従来はいわゆる「教養科目」「基礎科目」「臨床科目」と順番に積み上げ、講義の座学と模型実習を経て、仕上げとして「臨床実習」を行っていました。現在でもいわゆる「臨床実習」の重要性は変わりません。しかし、現在社会から求められているのは、知識や専門的な技術に加えて、医療人としてのプロフェッショナルリズムやコミュニケーション能力です。これは一夜漬けで出来るものではなく、時間をかけて習得しなければいけません。そこで、本学では初年次の全寮生活を皮切りに、医療人としての人間性の涵養を目標とすると同時に、医療の担い手となる自覚や将来の専門職を意識して、6年一貫の「診療参加型臨床教育」を柱として押し出しています。

シラバスの構成は、「社会と歯科医療・チーム医療コース」「オーラルフィジッシャントークス」「歯科臨床コース」の3つのコースになっています。

「**社会と歯科医療・チーム医療コース**」は本歯学部の特徴の一つです。将来チーム医療に参画できる医療人を育成するために、大学全体が医・歯・薬・保健医療学部間の学部連携教育（チーム医療教育）に力を入れています。1年次から学年の進行に応じて、学部連携 PBL 等で共通のテーマをもとにチーム医療の基本を学び、5年次には医学部附属病院の病棟を利用して、**学部連携病棟実習**を1週間実施します。国内はおろか世界でも類の無い実習です。そのほかに、歯学部単独で、初年次から学部外の施設を利用して医療・保健・福祉の現場を体験することにより、社会との関わりで歯科医療を学びます。

現在の歯科医療では口腔の病態と全身との関わりや、高齢患者や全身疾患を有する患者など特別な対応が必要な患者への歯科的対応が重要になってきました。生命に直結した口腔機能に関するリハビリテーションの重要性も高まっています。「**オーラルフィジッシャントークス**」では基礎医学や口腔科学を口腔医学の視点で学習し、歯科医療に密接した臨床医学との関連を含めて、命を救う歯科医師、命の尊厳を守る歯科医師を

めざして学習します。

「**歯科臨床コース**」では、低学年の入門科目から、一般的な歯科臨床に関する知識と技術を体系的に学びます。そして「**社会と歯科医療・チーム医療コース**」や「**オーラルフィジシャンコース**」で体験し学んだことを統合化し、社会が求めている臨床能力の高い歯科医師を目指して学習します。

歯科医師としての専門職を全うするための知識・技能・態度について、全国の歯科大学・歯学部における標準的な内容が、**歯学教育モデル・コア・カリキュラム**として制定されています。これは本学のシラバス全体の6割程度の内容ですが、4年次終了時に、モデル・コア・カリキュラムの習得を評価する**共用試験**を受験します。これに合格して進級すると、5年次の「**臨床実習**」に従事します。本学では**診療参加型臨床実習**の内容を充実させ、5年次終了次には、総合的な臨床能力を評価する独自の**iOSCA**を実施しています。6年次にはさらに選択ですが**アドバンスト臨床実習**の機会もあります。

現在、各分野で国際化が急速に進められています。医療には国家の政策が影響していますが、一方でグローバルスタンダードに対応した教育や診療が求められています。本歯学部においては、英語教育や自己学習の環境を整備して、学生の英語コミュニケーション能力の向上を目指してきました。そして交流プログラムを締結した海外の一流大学において、夏季休暇や春季休暇等を利用した**海外研修**や6年次の**海外選択実習**を実施し、これまで多くの学生が参加して成果をあげてきました。今年度も多くの諸君がチャレンジすることを期待しています。

学生の身分だけでなく一人前の歯科医師になってからも、生涯に亘り研鑽を怠らず社会に貢献する歯科医師が求められています。そのためには、自ら学ぶ力を育成しながら、問題発見そして問題解決できる力を身につけることが必要です。本学ではそのために**PBL チュートリアル教育**を取り入れています。

3年次の**研究入門**や6年次の選択実習では、学生が希望する基礎系研究室で研究に従事し、その成果を学内外で公表することも推奨しています。大学院科目を学部学生が履修できる**マルチドクター制度**もありますので、こちらにも多くの諸君が参加して、研究マインドを育成するとともに、将来の大学院進学を含めて歯科医療の進歩に対する夢を持って欲しいと思います。

さて、シラバスは羅針盤ですが、主役は諸君です。各ユニット（科目）の到達目標が達成できることが出発点です。このシラバスを参考に、毎日、各科目で、何を学ぶのか、そして今日の自分は昨日と異なり、これができるようになった、賢くなった、成長したと実感できるようにして欲しいものです。卒業時にコンピテンシーを持って社会に羽ばたきましょう。千里の道も一歩から。日々を大事にして将来に夢を持って頑張ってください。